

次期計画策定に係るご意見（令和4年度第8回仙台市障害者施策推進協議会）

項目	内容
計画策定全般について	<p>条例改正の実効性を上げるために、次の計画では事業者の理解促進と合理的配慮の提供に向けた広報周知を強力に進めることと、必要な財政的支援なども計画に可能な限り具体的に明記しておく必要があると思う。</p>
	<p>どのような対象に何を目標として取り組むのか、どこがイニシアティブをとるのか、どれくらいの方に支援を届けていくのか、データ（概数）を踏まえた支援者数から、何年かけて実施していくのか等、全体数からみた支援数や充足数など具体的な目標設定と方策を検討する必要があると思う。</p>
	<p>事業所が○件、利用者が○人というようなアウトプットだけの評価をするのではなく計画したものが意図した対象者に対して効果的なものだったのかといった、アウトカム評価を行う必要がある。また、実際の効果につながるような具体的な取組を次の計画に盛り込む必要がある。</p>
	<p>次期計画策定に当たっては、各施策において具体的な取組を入れていくということを目標に、一つずつ検討していくと良いのではないかと感じた。</p>
テーマについて	<p>昨年から最近にかけてのヒアリングの機会に、「学校などで、医療的ケアが必要な児童生徒も含めて、障害のある子どもたちと健常者の子どもたちが一堂に会して同じ時間を過ごす機会をできるだけ増やすべき。」という意見を複数回いただいた。看護師などの専門職人材の調達や財政上の制約などなかなか困難な課題かとも思うが、検討してほしいテーマと思う。</p>
	<p>地域を支える町内会、自治会等の地方自治の組織が高齢化や家族形態の変化により崩壊しているという現状がある。地域のあり方についてもテーマの1つとして議論すると良いのではないか。</p>
地域移行について	<p>必要な事項が整理されず、旧態依然のまま地域移行が進められている現状がある。また、障害のある方が地域で安心した自分らしいを送るためには、質の高い地域での支援＝人材の確保が必要となるが、人材を確保するためには報酬も含め魅力的職場であるか、やりがいや自身の成長を感じられるか等を考慮しなければならない。</p>
	<p>重度障害者が地域で生活するうえでは、アフターフォロー体制支援が必要になるかと思う。具体的な支援策、及び生活環境の場という部分を考えていくと良いのではないかと思う。</p>

<p>支援を必要とする対象者数の把握について</p>	<p>手帳の有無によらず仙台市の障害者数、あるいは支援が必要な対象数の現状把握（概数）を行うことが必要になるかと思われる。</p> <p>例えば、発達障害者支援事業所およびサービス・利用者数の増加の推移は把握できるが、児童発達支援センター利用の児童はじめ、多くの児童が療育手帳を取得していない。特に保育所・幼稚園に在籍する児童の支援体制の整備や拡充が重点施策に取り上げられているが、手帳を取得していない支援を要する方々の概数（どの程度の見込み）をおおよそ明らかにしないと、支援計画や人員体制（人材育成含む）が現実的なものと乖離してしまうように思う。量の把握ができると、質の担保や人材育成数の目標も明確化されてくるように思う。</p>
<p>保育・療育、教育・発達支援分野の施策について</p>	<p>切れ目のない支援の充実については新たな課題に母子保健や未来局と一緒に取り組む、行政の縦割りをなくした、共に活動するプロジェクトの様な活動の提案がほしい。発達障害児を取り巻く現状としては、愛着障害も絡んで複雑な状態像になっている児童や虐待リスクの高い児童、保育所や幼稚園などで適切な個別的支持が受けられていない児童、そして子育ての方法そのものがわからない保護者の増加など、支援内容の多様化や支援対象の幅の拡大（家族全体の支援、家族機能の補完が必要、地域全体で長くフォローしていく家族など）が顕在化した課題になっている。障害児と診断されていないグレーゾーンの児童が相当数存在し、複数回のフォローアップ等、丁寧な支援が求められている。様々な困り感をもつ児童を取りこぼしなく支援に結び付けていくためには、一組織や一担当部署では限界であるため、市の関連部局の垣根を超えてフォローの支援体制構築が急務である。現場レベルでは保育所等や家庭健康課とケースを通してつながっていくことができるが、さらに行政全体としての方針（計画）として明確化するなど、バックアップ体制があるとさらに連携を深めやすいと考える。</p> <p>現行では、主に発達障害について支援策やアーチルとの連携で対応しているようだが、視覚障害者は置き去りにされているように感じる。新たな指針では、難聴者・聴覚障害者の早期発見・早期教育の充実が明記されているが、聴覚だけではなく、視覚障害者も早期発見と早期教育・早期からの支援がその後の子供の発達に大きな影響を与えるため、視覚障害者もそのような文言を入れていただきたいと思う。</p> <p>また、視覚障害者の支援ができる専門性の高い支援者を育てる手立てを考えていただきたいと思う。</p>
<p>重度障害者等就労支援特別事業について</p>	<p>仙台市では、重度障害者等就労支援特別事業について、実施可能であると解答はいただいているが、対応できるヘルパーや事業者がないということで、実行されていないと聞いている。福祉計画の中でも、推進していくことを明記していただきたいと思う。</p>